

■ 白南雲 教授 主要論著 目錄 ■

- 「秋感一夕」, 『朝鮮總督府農林學校校友會會報』 8, 1915. 12(日文).
- 「否定原理에 對한 考察」, 『延禧』 5, 1925. 10.
- 「朝鮮社會力의 動的 考察」, 『朝鮮日報』, 1926. 1. 3, 부록.
- 「朝鮮自治運動에 對한 社會學的 考察」, 『現代評論』 1-1, 1927. 18.
- 「朝鮮契에 對한 社會史的 考察 1, 2」, 『現代評論』 1-6, 1-7, 1927. 7, 8.
- 「猪谷教授의 ‘朝鮮における産業革命’을 讀む」, 『企業と社會』, 1928. 2(日文).
- 「朝鮮經濟の研究’의 讀感」, 『朝鮮之光』 89, 1930. 1.
- 「後塵追從 朝鮮産業化 傾向」, 『東亞日報』, 1930. 4. 2.
- 「社會學의 成立 由來와 任務」, 『朝鮮日報』, 1930. 8. 20~24(전 5회).
- 「鄉約의 復活에 對하여」, 『青年』 12-1. 1932. 1.
- 「장꾼의 來歷」, 『東光』 4-2, 1932. 2.
- 「科學發展의 歷史的 必然性」, 『東方評論』 2, 1932. 5.
- 「自作農創定計劃」, 『東方評論』 3, 1932. 7. 8.
- 「朝鮮史觀 樹立의 提唱」, 『經濟研究』 4, 1933.
- 『朝鮮社會經濟史』(東京: 改造社), 1933. 9(日文).
- 「朝鮮社會經濟史 出版에 對한 所感」, 『中央』 1-1, 1933. 11.
- 「朝鮮經濟史의 方法論」, 『新東亞』 3-2, 1933. 12.
- 「世界經濟를 支配하는 พลัง運動의 今後」, 『東亞日報』, 1934. 1. 1~5(전 5회).
- 「朝鮮經濟의 現段階論」, 『改造』 16-5, 1934. 4(『思想叢報』 17, 1938. 12 재수록).
- 「善專學會論集’에 對한 讀後感」, 『東亞日報』, 1934. 5. 1~4(전 4회).
- 「朝鮮特有의 社會制度」, 『東亞日報』, 1934. 10. 20~28(전 8회).
- 「理論經濟學의 再建」, 『中央』 2-10, 1934. 10.
- 「朝鮮勞動者 移動問題」, 『東亞日報』, 1935. 1. 1~2(전 2회).
- 「數字朝鮮研究’ 第五輯에 對한 讀後感」, 『東亞日報』, 1935. 5. 28~29(2회).
- 「뉴델의 展望」, 『東亞日報』, 1935. 6. 13~23(전 8회).
- 「獨立하는 比律賓과 米國」, 『新東亞』 45, 1935. 7.
- 「丁茶山의 思想」, 『東亞日報』, 1935. 7. 16.
- 「丁茶山百年祭의 歷史的 意義」, 『新朝鮮』 12, 1935. 8.
- 「復古經濟의 任務」, 『東亞日報』, 1935. 9. 29.
- 「戰爭과 經濟」, 『東亞日報』, 1936. 1. 1~9(전 6회).
- 『朝鮮封建社會經濟史(上)』(東京: 改造社), 1937. 11(日文).
- 「統制經濟의 倫理性」, 『東洋之光』 4-6, 1942. 6(日文).
- 「全國文學者大會에 보내는 MESSAGE」, 『建設期의 朝鮮文學』, 1946.

- 「朝鮮社會經濟史」, 『人民評論』 1, 1946. 3.  
「朝鮮民族의 進路」(서울; 新建社), 1946. 7.  
「吾人の 主張과 使命」, 『獨立新報』 1946. 5. 1~4(전 3회).  
「朝鮮社會經濟史」, 『人民評論』 1-2, 1946. 7.  
「朝鮮歷史學의 科學的 方法論」, 『民族文化』 1, 1946. 7.  
「眞實한 民主獨立에의 길」, 『獨立新報』, 1946. 8. 15.  
「科學의 使命」, 『學術』 1, 1946. 8.  
「文敎部長 俞億兼君에게 보내는 公開狀」, 『獨立新報』, 1947. 4. 20.  
「朝鮮民族의 進路 再論」, 『獨立新報』, 1947. 5. 8~21(전 12회).